

ここから広げよう!! 先生からのオススメ本 READING LIST

人文学部 熊谷 健 先生



田中洋編 著
『ブランド戦略全書』

有斐閣, 2014年11月
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 675/B 91

購買意思決定において製品やサービスの差異を示すブランドが果たす役割は重要です。本書はブランドの概念と役割を包括的に整理し、事例を提示しつつ平易な言葉を用いて解説した良書です。執筆者はブランド論、マーケティング論、消費者行動論等の分野で我が国を代表する研究者または実務家であり、これらの分野に関わる学生、研究者、および実務家にとって有用な手引書となっています。

教育学部 松本 昭彦 先生



吉海直人 著
『源氏物語桐壺巻論』

武蔵野書院, 2021年11月
【所在】 図・開架・図書 / 教・国語教育
【請求記号】 913.36/Y 89

『源氏物語』の冒頭「桐壺」巻に登場する人物を一人ずつ取りあげ、平安時代前・中期の政治と後宮制度を背景とする中で、それぞれの人物描写がどのような意味を持つのかを考察したもの。さらには、記述されない人間関係、隠れた登場人物までも想定しながら、『源氏物語』が始まる前の桐壺帝と更衣をめぐる物語を透かし読みし、「深読み」をスリリングに展開している。

医学部 成田 正明 先生



瀬尾幸子 著
『みそ汁はおかずです』

学研プラス, 2017年10月
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 596.1/Se 76

コロナでステイホームが言われている今日、食事は大切です。特に朝食。中でも味噌汁は朝ごはんのメインです。凝ったものを作れなくても何かささっと。本書は栄養たっぷりの味噌汁を作る極意が満載。いろんな野菜、お肉バリエーション豊富! 写真入りがうれしい! 栄養学の勉強にもなる。自分だけでなく家族も喜ぶこと請け合い! 学問の合間に作ってみては?

工学部 元垣内 敦司 先生



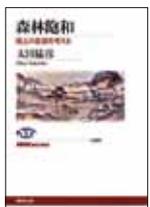
安藤幸司 著
『カメラとレンズのしくみがわかる光学入門』

インプレス, 2019年7月
【電子ブックURL】
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000076870>



最近ではスマートホンのカメラが発達し、一眼レフなどの大きなカメラを持っていなくても、ある程度高画質の写真が撮影可能になった。この本はカメラで写真が撮れる仕組みだけでなく、光の色や性質など光の物理的な性質、レンズの種類や働き、画像処理など光技術の基本的な内容について易しく書かれている。カメラに興味がある人もない人も、是非読んで、光について興味を持ってほしい。

生物資源学部 沼本 晋也 先生



太田猛彦 著
『森林飽和：国土の変貌を考える』
(NHKブックス; 1193)

NHK出版, 2012年7月
【所在】 開架・図書
【請求記号】 650.21/O 81

日本の森というとどんな景観を思い浮かべるだろう。江戸から昭和初期にかけて、里地に近い各地の山域は貧相な森林や草地や禿げ山であった。本書は、津波に襲われた海岸林をきっかけに、森林と国土利用のあり方を水と砂から考える視点を示している。自らが暮らす国土の変貌への正しい理解が、量的回復を果たした森林の新たな問題や21世紀の環境課題を考えるうえで不可欠といえる。

高等教育デザイン・推進機構 守山 紗弥加 先生



桑子敏雄, 千代章一郎編 著
『感性のフィールド：
ユーザーサイエンスを超えて』

東信堂, 2012年9月
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 115.5/Ku 96

「感性」と聞くと芸術分野を想像されがちだが、本書が取り上げている対象は農村、都市、河川、出産、教室、古墳、旅など実に多彩である。それらを感性の動くフィールドと捉え、身体的存在である人間が環境と自己との関係を捉える能力としての感性、という視点で各フィールドを描く。感性哲学の第一人者たちによる、分野を超えた感性と思考の交わりを堪能できる一冊である。